



年末年始・春節等に向けた 防疫対策の強化について

口蹄疫は12月にミャンマーで発生し、ASFは9月に韓国、12月にインドネシアでも発生が確認され、近隣アジア諸国への浸潤が進行しています。

これから年末年始や春節(中国では1月25日)を迎えるにあたり、アジア地域における人・物の移動が盛んになることから、口蹄疫、ASF等のウイルス侵入リスクが高まると考えられます。

ウイルスの侵入を防ぐため、以下のことを徹底しましょう。

- 1 発生地域への渡航は可能な限り自粛
- 2 農場への部外者立入禁止
- 3 人・車両の消毒の徹底
- 4 野生動物の侵入防止
- 5 健康観察を毎日行い、異常の早期発見・早期通報
- 6 危機意識を持ち、CSF・ASFに関連する最新情報の把握に努める



PED発生情報(17例目)

確定診断日	発生農場	症状
17例目 12月23日	県中部の1農場 (約1,960頭飼養の一貫農場)	哺乳豚100頭で水様性下痢、 10頭死亡。

いのしし柵事業の窓口変更について

年明けから、いのしし柵事業の窓口が**農業事務所と畜産課**に変更になります。

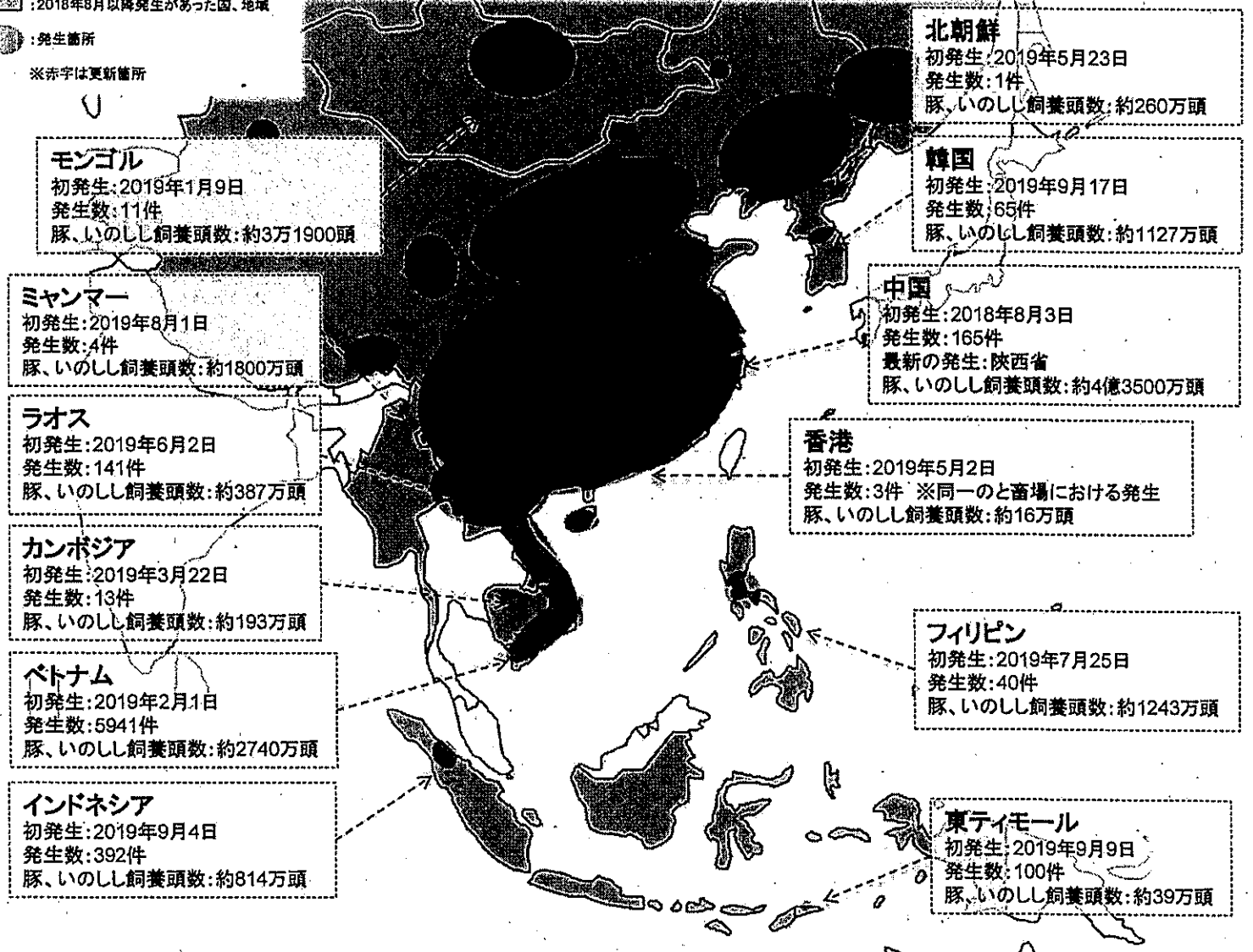
該当農家の方には、後日、注意事項等の書類を送付いたします。
御確認、よろしく申し上げます。

アジアにおけるASFの発生状況

■: 2018年8月以降発生があった国、地域

●: 発生箇所

※赤字は更新箇所



※ OIE報告等の情報を元に作成

発生日: OIE報告による発生が確認された日

飼養頭数: FAO統計(2017)による

※2019年8月23日より、中国における疫区解除地点を通常の発生地点と同様の標記としました。

また、発生件数をOIEへの報告件数に統一しました。

計 (中国)	165件(148農場/村、7施設、8車両、野生いのしし2か所) (22省、5自治区、4直轄市)
(ベトナム)	5941件(5941農場/村) (58省、5直轄市)
(モンゴル)	11件(11農場/村) (6県)
(カンボジア)	13件(13農場/村) (5州)
(香港)	3件(施設) ※同一のと畜場における発生
(北朝鮮)	1件(1農場/村)
(ラオス)	141件(137農場/村、2施設、野生いのしし2か所) (1都、14県)
(ミャンマー)	4件(4農場/村) (1州)
(フィリピン)	40件(40村) (1都、4州)
(韓国)	65件(14農場、野生いのしし51か所) (2道、1広域市)
(東ティモール)	100件(100農場) (1県)
(インドネシア)	392件(家庭農場) (1州)

2019年12月24日現在